



よく生きよ

大仙市立大曲中学校  
1年学年通信 No. 29  
令和元年9月11日

## フィールドワーク特集 その2

### 秋田ふるさと館OTA

大仙市EM環境浄化研究会会長太田さんより、有用微生物を活用した農業についての説明を中心に、秋田こまちの生産工程や稲作に関わる行事などについても教えていただきました。説明後は、特別栽培の田んぼを見学させていただきました。帰りには無農薬栽培のリンゴをいただきました。生徒たちは、初めて聞く無農薬栽培に関心をもってメモをしたり、質問をしたりしていました。無農薬栽培のリンゴも試食させてもらい、おいしくいただきました。



### 大仙市建設部都市管理課

大仙市駅前及び大花町、幸町周辺の都市再開発計画の概要を資料を交えて詳しく教えていただきました。生徒は、50年前の大曲駅裏がほとんどすべて田園であったことに驚いていました。後半は市営住宅8Fの屋上から市街の全貌を見わたしました。計画に沿って開発が進んでいることを目の当たりにして感動していました。



### 大仙市総合政策課

大仙市の特色について、加賀課長さんからプレゼン形式で説明していただきました。生徒たちは説明の中の人口減対策について興味をもって聞いていました。加賀さんの説明の中からは花火を基にして、多くの産業を発展していこうとする強い意気込みが伝わってきました。



### まるこのひろば、大曲中央こども園

子ども支援課の職員の方に子育て支援について説明していただきました。人口は減少傾向にあり、生産年齢人口の減少と老年人口の増加が大きな課題となっています。特に18歳女子の県外流出が痛手だというお話を聞きました。その後、まるこのひろば、大曲中央こども園を見学させていただきました。中央こども園では、運動会の練習に参加したり、3歳児クラスに入って子どもたちと粘土やおままごとなどで遊び、子どもたちに大人気でした。これからの大仙市をつくる子育てについて深く考える機会となりました。



## 大仙市役所 総合防災課

大曲で起こった自然災害を中心に、過去の災害状況や災害にあたっての心構え等について総合防災課の成田聖さんのお話を聞きました。生徒たちは真剣にメモをとりながら、講演を聞いていました。大曲では特に雨と地震による災害が多く、H29年7月の豪雨による洪水被害がきっかけとなり、大曲にあるアンダーパスに遮断機が設置されたことや、各家庭にハザードマップが配付されたことなど、地元の自然災害の対策について知るよいきっかけとなりました。



## 自然科学調査事務所

大曲の自然と災害をテーマに、大曲の地質や自然環境、自然災害について自然科学調査事務所の桜田裕之さんのお話を聞きました。「講演を聴くだけでなく、そこからさらに疑問に思ったことを自分で調べ、追究したり、家族で話し合ったりすることが大切だ」という言葉が印象的でした。生徒からは「ハザードマップを活用して、災害が起こったときの対策を家族と話しあっていたい。」という感想が聞かれました。



## 湯沢河川国道事務所 大曲出張所

間倉の工事現場へ行き、堤防を作るきっかけとなった大雨による洪水被害やICT建設機械について、所長の佐々木齊さんからお話をいただきました。現場では実際に工事で使用しているICTバックホウに乗せていただきました。実際に操作をし、重機を動かすことに興味津々の様子でした。オート機能やハンドルやレバーの操作だけで堤防をつくることができることに感動している生徒もいました。その後、玉川橋下で、佐々木辰一さんから出張所の仕事内容について教えていただき、玉川の水質試験を体験しました。地元を流れる玉川はきれいな川であることを実感することができました。



## 安養寺

安養寺の住職の板先達さんから大曲の地名の語源（雄物川が大きく曲がっていたことから、麻を刈っていたことから）や昔、大曲から船でお米を運んでいたことなど、大曲の歴史について教えていただきました。本堂の裏やお宝など、貴重なものを見せてもらって生徒たちは大興奮の様子でした。

